



# 共 育

6月15日、瑞穂小学校のプール開きを行いました。北陸地方は梅雨入りしたばかりですが、陽差しはまさに夏本番です。今日もプールサイドに響く子どもたちの歓声に、職員も元気もらっています。

さて、今月号では、先月に引き続き、市が示した「羽咋教育ビジョン」に基づき、瑞穂小学校が特に力を入れて取り組む項目の二つ目、「豊かな心を育てるために」についてご紹介いたします。

豊かな心は一朝一夕に成るものではなく、また、学校の教育だけで育まれるものでもありません。長い時間をかけ、ご家庭や地域との連携があってはじめて身につくものだと考えます。ここでは、学校がどのような方針で、どのようなことに取り組んでいるのかを知っていただき、同じ方向で瑞穂っ子たちの育ちを見守られたらと思って学校の様子をご紹介します。

ちょっと自信  
ないんだけど…。  
わたしの考えを言います。



## (2) 「豊かな心を育成するために」

- ① これまで取り組んできた道徳の授業スタイルを活かしながら、自分の本音をすなおに表現できる授業作りを進めます。

### <実践のひとつ 3年生 道徳>

「みんなのどうとく『やくそく』」から、約束をやぶってしまったら自分ならどうするだろう、ということについて深く考える時間を持ちました。

友だちと話し合う中で、自分の考えをすなおに語っています。



② 毎週水、金曜日朝学習の時間を読書の時間とし、本に親しむ経験を積



ませています。また、図書ボランティアによる読み聞かせや、先生方のお薦めの本紹介、全校縦割り班対抗で、推薦図書の貸出冊数を競うなど、読書の幅を広げています。

<実践のひとつ 1年生 読み聞かせ>

図書ボランティアぼちぼちいこかさんの読み聞かせの様子

③ 「その道のプロに学ぶ」活動として、『畑の先生』や『ちまき作りの先生』など、地域の方との交流を通して本物に触れる体験をつまめます。

<実践のひとつ 3年生 ちまき作り>

富永老人会のみなさんのお世話で3年生がちまきの作り方を習ってきました。巻き方のコツやだんごのこね方など、真剣に聞いていました。



④ 『先あいさつレジャー隊』や『瑞穂カストーディアル』『4黙運動』（黙想、黙礼、黙働清掃、黙食）など、ボランティア活動を通して貢献の心を育てます。



<実践のひとつ 全校児童 >

毎朝、学校の玄関で自主的に行うあいさつ運動。今年は1年生が率先して参加してくれています。そして、「おはよう」のあいさつのまえに「〇〇さん、おはようございます」と名前を呼んであいさつするシーンが増えています。

⑤ 一人一人の活躍の場を大切にし、昼の毎日ほっとタイムや育ちあいジャーナル（日々の日記）などから頑張っている姿を紹介します。



<実践のひとつ 全校児童>

この日は、5年生の授業の様子をお昼の時間に全校に向けて紹介しました。班ごとに話し合った記録が残るホワイトボードを示しながら高学年の学習の様子を伝えることで、低学年の子どもたちも、お兄さんお姉さんのようにがんばりたいという気持ちを高めます。